

## 令和3年度 事業報告書

自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日

住 所 東京都文京区春日1丁目16番30号

法人名 公益財団法人 講 道 館

## 令和 3 年度事業報告書

### 【公益事業】

#### 1. 青少年を対象とする学校講道館の運営

本年度の稽古状況及び練習段階は下表のとおり。なお、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて稽古の条件及び内容を変更するなど、感染予防及び感染拡大防止対策を徹底しつつ、運営に努めた。

(講道館での稽古状況及び練習段階)

期間	稽古状況・練習段階	講道館行事
2021/4/1 ～4/24	通常稽古	月次試合 4/8, 4/15
4/25～ 6/20	稽古休止（感染拡大防止のため）	月次試合 中止(5/13, 20) 春季紅白試 中止(6/13) <b>緊急事態宣言 4/25～6/20</b>
6/21～ 7/18	通常稽古	暑中稽古 7/1～7/10 夏期講習会第一部 7/5～ 7/10 月次試合 中止(7/15)
7/19～ 7/30	稽古休止（オリンピック練習会場のため）	
7/31～ 8/21	稽古休止（感染拡大防止のため）	月次試合 中止(8/5) 夏期講習会第二部・教科中止 (8/9～11)
8/22～ 8/29	稽古休止（パラリンピック練習会場のため）	女子・少年 中止(8/13～15) <b>緊急事態宣言 7/12～9/12</b>
8/30～ 2022/1/11	通常稽古	月次試合 中止(9/4) 秋季紅白試合 10/10 全国高段者大会 11/3（4/28 から変更） 月次試合 11/4, 11/11, 12/11 寒稽古 1/6～11（6日間） 鏡開式 1/9
1/12～ 1/16	稽古休止（一般修行者1名の新型コロナウイルス感染が確認されたため）	
1/17～ 3/31	通常稽古 火・金曜日の形研修部は休止	月次試合 2/26（2/5 から変 更）, 3/5
1/24～ 1/26	少年部稽古休止（少年部修行者1名の新型コロナウイルス感染が確認されたため）	

(生徒数の変遷)

学校講道館の生徒数の推移は以下のとおり。

(名)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
柔道普通科	83	65	76
柔道特修科	168	92	93
柔道補習科	10	10	4
柔道研修科	21	21	21
柔道国際科	43	16	18
合計	325	204	212

## 2. 講道館道場における柔道の指導教授

### (1) 道場における指導

延べ170名を超す指導員・講師を配置し、各科においては、それぞれの対象の実態をふまえた上で、生徒の心身の発育・発達段階や、能力・適性、興味・関心等の実状を考慮し、柔道技術面だけではなく、礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、柔道の持つ伝統的な行動の仕方等を重視して修行者の指導に当たった。

### (指導員・講師)

道場における修行者の指導を適切に行うため、道場指導部においては、錬成部指導員、成年部指導員、女子部指導員及び大阪道場指導員を選任、学校講道館では少年部講師、男子部講師、女子部講師及び国際科講師を選任し、各部毎に指導計画、実施方法を定めて技術面、精神面にわたり指導した。

### (稽古時間及び指導時間)

(本館)

#### ア. 一般稽古

平日	男子	午後6:00-8:00
	女子	午後6:00-7:30
土曜	男子	午後6:00-7:30
	女子	平日に同じ

#### イ. 少年指導

第1班	午後4:30-6:00	午後5:00-6:00
第2班	午後6:00-7:30	

#### ウ. 「形」指導

形研修	毎月1回土曜日	午後3:30-5:30
	毎週火曜日・金曜日	午後5:00-7:00

(大阪)

午後6:00-8:00

### (2) 研修会

道場指導員、学校講道館講師に対し、適宜研修会を実施した。また、道場指導員、学校講道館講師及び柔道高段者の資質の向上と自己研鑽に資する目的で、月1回の形研修を実施した。

### (3) 暑中稽古及び寒稽古

暑中稽古は、講道館本館において10日間(申込者数145名 皆出席者数68名)、大阪国際柔道センターにおいて5日間(参加者数276名 皆出席者数28名)実施した。

寒稽古は、講道館本館においては10日間の予定であったが、新型コロナ陽性者が確認されたため、6日間に短縮された(申込者数214名 皆出席者数135名)。大阪国際柔道センターにおいては、5日間(参加者数399名 皆出席者数43名)実施した。

### (4) 紅白試合及び月次試合

修行者の上達度合いを確認し修行の励みとするため、紅白試合及び月次試合を行った。

○月次試合 — 新型コロナウイルス感染症の影響により、5月、7月、8月、9月の月次試合を中止し、4月、11月、12月、令和4年2月および3月(計7回)を実施し、合計397名の参加であった。

○紅白試合

秋季紅白試合（10月10日）：男子有段者154名 男子無段者17名 女子無段者5名  
少年26名 計202名（抜群者なし）

※新型コロナウイルス感染症の影響により、春季紅白試合を中止した。

大阪前期紅白試合⇒新型コロナウイルス感染症の影響により中止

大阪後期紅白試合（令和3年12月12日）：男子116名 女子25名 計141名

抜群者 男子2名（初段→弐段1名、弐段→参段1名）

3. 学校等の柔道指導者による青少年の健全な育成に関する協議会の開催

令和3年8月21日、22日、群馬県「ALSOKぐんま総合スポーツセンターぐんま武道館」において、全国中学校柔道大会に先立ち、中体連柔道競技部の各都道府県の専門委員長を対象として、「講道館中学校柔道指導者講習会」を開催した。講習内容は、「これからの中学柔道に期待すること」及び「国際柔道連盟試合審判規程に則った審判員の適正な動作」であった。

4. 青少年の健全育成に関する実践報告会及び研究会の開催

(1) 大阪国際柔道センターで開催予定だった青少年の柔道普及を目的とした「少年少女柔道錬成発表会」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

(2) 全日本柔道少年団各地区代表者会議は、令和4年2月27日（土）講道館大道場において開催した。

5. 青少年の健全な育成に関する国内外諸団体との連絡、資料交換及び交流

新型コロナウイルス感染症の影響により、講道館段位推薦委託団体（110団体）の会長会議の開催を見送った。

6. 講習会の開催

(1) 夏期講習会

柔道夏期講習会第一部を令和3年7月5日から10日までの6日間、実施した。

柔道夏期講習会第二部、女子柔道夏期講習会、少年柔道夏期講習会、教科柔道夏期講習会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった。

\*附属明細書①参照

(2) 講道館講習会

より一層の普及・振興を図るため、本年度も本館から講師を派遣し実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、派遣先は4カ所、講師は6名であった。

\*附属明細書②参照

(3) 講道館形講習会

制定された正しい“形”の修得を目指してもらう為に、講道館“形”講習会を本年も実施した。派遣先は、今回は1カ所で、講師は4名であった。新型コロナウイルス感染症の影響により、その他10カ所で予定されていた講習会は中止となった。

\*附属明細書③参照

(4) 青少年育成講習会

新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった。

7. 柔道指導者の養成及び海外派遣並びに外国人柔道指導者等の受入れ

(1) 柔道指導者の海外派遣について

以下の指導者派遣を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に縮小された。

ア. 本館による短期派遣（なし）

イ. 海外柔道連盟招聘による本館短期派遣（なし）

ウ. 国際柔道連盟（IJF）アカデミーへの派遣（1カ国、1名）

エ. 海外柔道連盟招聘による本館長期派遣（なし）

オ. 国際交流基金との共催事業による短期派遣（なし）

カ. 本館以外による派遣（全柔連、日本ろう者柔道協会等）（2カ国、2名）

キ. 国際柔道連盟（IJF）、国際視覚障がい者スポーツ連盟（IBSA）関係諸行事及び大会への派遣（8カ国、10名）

\*附属明細書④参照

(2) 外国人柔道指導者等の受入れについて

ア. 本館において修行した外国人は男子15カ国より20名、女子3カ国より3名、合計で16カ国より23名であった。

イ. 外国からの団体及びナショナルチームの本館での受け入れは、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。

ウ. 講道館柔道国際セミナーについて

令和4年3月にセミナーを計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

エ. 日アセアン自他共栄プロジェクト（国際交流基金アジアセンターとの共催）による招へい  
新型コロナウイルス感染症の影響により、形態をオンラインに変更し下記の通り行った。

① オンライン講道館柔道国際セミナー

実施方法：現地語の通訳者を手配し、各国ごとに1日90分×3コマの授業を実施

カンボジア	令和3年8月13日	17名参加
ベトナム	令和3年9月6日	191名参加
タイ	令和3年9月25日	40名参加
マレーシア	令和3年9月27日	59名参加
ミャンマー	令和3年10月2日	57名参加
シンガポール	令和3年11月6日	13名参加
フィリピン	令和3年11月13日	71名参加
インドネシア	令和3年11月22日	227名参加
ラオス	令和3年11月29日	25名参加
ブルネイ	令和3年12月18日	10名参加

※附属明細書 参照

② YouTube ライブ配信：子どもの形セミナー

10月28日（木）に嘉納治五郎師範生誕祭、IJF形セミナー（子どもの形）とのコラボレーションで実施し約400名の参加者があった。

(3) 国際協力機構（JICA）海外協力隊（旧青年海外協力隊）に関わる事業等

ア. JICA海外協力隊 課題別派遣前訓練（柔道）（旧青年海外協力隊員技術補完研修）を以下の通り実施した。

- i. 期 間：令和3年6月28日～6月30日  
受講者：2021年度1次隊研修生1名
- ii. 期 間：令和3年9月16日～9月18日  
受講者：2021年度2次隊研修生1名
- iii. 期 間：令和3年11月15日～11月17日  
受講者：2021年度3次隊研修生1名

イ. 本館における課題別派遣前訓練を終了して派遣されている JICA 海外協力隊員

令和3年度に任期を終了して帰国した隊員は1名であった。

令和3年3月31日現在で赴任中の隊員は計4名であった。 ※附属明細書 参照

(4) 柔道器材支援

ア. 寄贈

講道館柔道器材支援として、タンザニアに柔道衣を以下の通り寄贈した。

上下セット105（うち全柔連13着）、上衣のみ29、下衣のみ33

イ. 提供

支援用柔道衣として、合計60着の柔道衣の提供を受けた。

8. 調査研究

- (1) 「講道館技研究部会」「形検討委員会」は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。
- (2) 日アセアン自他共栄プロジェクトの一環で教材作成を行った。

9. 図書、雑誌等の編集発行

(1) 雑誌「柔道」

講道館機関誌である雑誌「柔道」（月刊誌）を原則毎月1日に発行した。内容は、講道館柔道に関する論説、講道館行事・事業の報告、講道館主催の講習会、国内外の主要な大会、全柔連のページ、各地だより、少年団のページ、昇段者、月次試合、科学のページ等であり、広く国内および海外（2022年1月号から発送再開）に配付して柔道の普及発展に寄与した。

(2) 講道館柔道科学研究会・研究集会の開催

講道館柔道科学研究会運営委員会によって研究集会を以下の要領で実施した。

日 時：令和4年3月12日（土） 14時～16時

場 所：講道館新館2階教室

テーマ：コロナ禍における柔道指導法 - 集団の特性に応じた指導法の共有 -

座 長：高橋 進（大東文化大学・運営委員会副委員長）

演 者：久保田浩史（東京学芸大学）

大竹 雄介（明治大学付属中学高等学校）

秋山日向子（講道館道場指導部）

(3) 「講道館柔道科学研究会紀要」の公開

第1から3輯および第10から18輯までに収録されている論文を講道館HPに公開し、柔道研究の振興に努めた。

10. 文献資料の収集保存及び展示

(1) 資料館

ア. 資料の保存環境の向上

定期的な清掃を行い、資料の保存に適した環境の維持、向上に努めた。

イ. 入館者数 641人 (前年度比 35人増)

国内男性 373人、国内女性 182人、海外男性 76人、海外女性 10人

総合的学習の一環として来館した学校は以下の2校(事前申請のあった学校のみ記載)

- 筑波大学附属大塚特別支援学校
- 文京区立指ヶ谷小学校

ウ. 資料収集の促進

寄贈受入 31点

エ. 大会開催日等における休日開館

実施日: 嘉納師範生誕祭(10月30日)、全国柔道高段者大会(11月3日)

醍醐敏郎講道館十段お別れの会(11月20日 醍醐十段の映像・写真・ゆかりの品特別展示)

安部一郎講道館十段お別れの会(3月26日 安部十段の映像・写真・ゆかりの品特別展示)

(2) 図書館

ア. 柔道関係の文献・映像資料の収集・保存・提供

a. 和書 65冊

b. 洋書 5冊

c. 映像資料 17点

蔵書数は和書 6,072冊、洋書 1,612冊の合計 7,684冊となった。

イ. 主要な大会プログラムの収集・保存・提供

受け入れたプログラム数 19点

ウ. 刊行物(雑誌・新聞)の逐次受入

a. 寄贈

・「柔道」講道館, 2021年4-12月, 2022年1-3月

・「月刊武道」日本武道館, 2021年4-12月, 2022年1-3月

・「近代柔道」ベースボール・マガジン社, 2021年4-12月, 2022年1-3月

b. 購入

・「武道学研究」(令和3年度分)

・「体育学研究」(令和3年度分)

エ. 柔道に関する調査依頼への対応

問い合わせ件数 30件(研究者、学生、マスコミ関係者、一般等)

オ. 図書館利用者数 126人(前年度比 10人増)

11. 国際大会及び国内大会の開催

(1) 全国柔道高段者大会

4月28日に開催予定であった全国柔道高段者大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となり、11月3日(祝・水)に講道館大道場で開催した。全国から八段23名、七段116名、六段205名、五段285名、合計629名の参加があり、参加者には10日間の体温測定と健康記録表の提出を義務づけ、徹底した感染防止対策の中で大会が行われ、一人の感染者も出さずに大会を終えた。

(2) 全日本柔道選手権大会

本館と全日本柔道連盟共催の本大会は、4月29日に日本武道館にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となり、12月26日(日)に講道館大道場において無観客にて開催した。前年度優勝者、準優勝者等の推薦4名と全国10地区選出の39名を合わせた計43名が出場した。

(3) 皇后盃全日本女子柔道選手権大会

本館と全日本柔道連盟共催の本大会は、4月19日に横浜にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となり、12月25日(土)に講道館大道場において無観客にて開催した。前年度準優勝者等の推薦2名と全国10地区選出34名を合わせた計36名が出場した。

(4) 全国少年柔道大会

本大会は、5月5日講道館大道場において開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、代替事業としてリモートによる合同錬成を10月17日(日)に実施した。

(5) 全日本柔道形競技大会

本館と全日本柔道連盟共催の本大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

## 12. 段位認定

### (1) 入門者（外国人を含む）

本年度の入門者は13,593名で昨年度に比べ2,520名の増となった。  
過去10年の入門状況は次のとおりである。

年 度	入門者数(名)	前年比(名)	年 度	入門者数(名)	前年比(名)
H 2 4	23,055 (男子) 18,995 (女子) 4,060	+326	H 2 9	21,273 (男子) 16,917 (女子) 4,356	+1,584 (+8.0%)
H 2 5	21,643 (男子) 17,543 (女子) 4,100	-1,412	H 3 0	18,775 (男子) 14,819 (女子) 3,956	-2,496 (-11.7%)
H 2 6	20,881 (男子) 16,927 (女子) 3,954	-762	R 元	16,773 (男子) 13,175 (女子) 3,598	-2,002 (-10.7%)
H 2 7	20,386 (男子) 16,400 (女子) 3,986	-495	R 2	11,073 (男子) 8,533 (女子) 2,540	-5,700 (-34.0%)
H 2 8	19,689 (男子) 15,879 (女子) 3,810	-697 (-3.4%)	R 3	13,593 (男子) 10,350 (女子) 3,243	+2520 (+22.8%)

### (2) 外国人入門者

本年度の外国人入門者は35(前年度比+2)の国・地域から男子152(同+72)名、女子36(同+12)名の合計188(同+84)名であった。

### (3) 昇段者

本年度の昇段者は合計19,742名で昨年度に比べ468名の増となった。  
過去10年の昇段状況は次のとおりである。

年 度	昇段者数(名)	前年比(名)	年 度	昇段者数(名)	前年比(名)
H 2 4	32,333 (男子) 27,181 (女子) 5,152	+393	H 2 9	28,488 (男子) 23,278 (女子) 5,210	+1642 (+6.1%) ※389名
H 2 5	30,326 (男子) 25,197 (女子) 5,129	-2,007 ※含最高審議会 385名	H 3 0	25,070 (男子) 20,218 (女子) 4,852	-3,418 (-12.0%)
H 2 6	28,406 (男子) 23,413 (女子) 4,993	-1,920	R 元	23,238 (男子) 18,790 (女子) 4,448	-1,832 (-7.3%) ※374名
H 2 7	27,988 (男子) 23,061 (女子) 4,927	-418 ※369名	R 2	19,274 (男子) 15,314 (女子) 3,960	-3,964 (-17.1%)
H 2 8	26,846 (男子) 22,042 (女子) 4,804	-1,142 (-4.1%)	R 3	19,742 (男子) 15,510 (女子) 4,232	+468 (+2.4%) ※341名

※最高審議会を含む

## 13. 合宿、講習会、大会等参加者のための宿泊・休憩施設の提供

講道館で柔道の合宿、講習会、大会等が行われる際に、参加者及び指導者・運営役員等に対して新館3階をホステルとして提供している。本年も新型コロナウイルス感染症の影響により、各種大会、イベントの延期・中止に伴い宿泊者数は昨年同様に激減した。令和3年度宿泊者は延べ総数1,039人(令和2年度328人)で、令和元年度総数9,431人に比べて約11.0%であった。

## 14. 東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催への協力

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に対し、公式練習会場として道場等の貸し出しを行った。

## 【収益事業】

### 15. 物品販売

柔道関係の書籍・DVD、柔道グッズ等の雑貨、カレンダー等の刊行物を販売した。また、登録商標の使用許諾料収入等も得た。概要については下記の通り。

#### (1) 書籍

投の形、固の形、極の形、柔の形、講道館護身術、五の形・古式の形、昇段内規、嘉納治五郎（伝記）、JIGORO KANO AND THE KODOKAN（同伝記英語版）、講道館柔道試合審判規定、激闘の轍、百三十年沿革史、嘉納治五郎著作集（一）～（三）、嘉納治五郎（私の生涯と柔道）、嘉納師範に学ぶ、少年柔道指導法

#### (2) DVD

形：投の形、固の形、柔の形、極の形、講道館護身術、五の形、古式の形  
激闘の轍（昭和編）・（平成編）、術から道へ

#### (3) 雑貨

ネクタイ、タオル、高段者バッジ、額（大）、額（小）、段マーク、短冊（精力善用・自他共栄）、色紙（精力善用 自他共栄）、額（精力善用・自他共栄）、師範遺訓額（和文、英文付き、和文<小>）  
銀製バッジ（ネジ/タックピン）、並バッジ（蝶ピン/ネジ/安全ピン）

#### (4) 刊行物

カレンダー、絵葉書

#### (5) その他

講道館マーク使用料 3件  
売店手数料収入 1件

### 16. 貸室・駐車場賃貸等事業

講道館が所有する不動産の一部を店舗、病院、事務所、駐車場等として賃貸した。また、自動販売機等のサービスを有料で提供した。概要については下記の通り。

#### (1) 貸室

講道館本館 7階	歯科医院
本館 6階	医院
本館 5階	事務所
本館 4階	事務所
本館 2階	事務所
新館 1階	小売店
新館地下 1階	飲食店
大阪国際柔道センター 3階	事務所
1階	飲食店

#### (2) 駐車場

講道館	8台（月極）
	20台（インターネット予約サイト）
大阪国際柔道センター	8台（月極） 単車3台

#### (3) 自動販売機、その他（ロッカー、コイントリー等）サービス



## 事業報告書—附属明細書

### ①夏期講習会

講習名	受講資格	講習の目的	期間	受講者数 (修了者数)
第1部	男子四段、女子三段以上	柔道高段者の資質の向上	7.5 ~ 7.10	31 (19)
第2部	三段以下の有段者・無段者	柔道修行の基礎の確立	中止	
女子柔道	女子柔道修行者	柔道修行の基礎の確立	中止	
少年柔道	少年柔道修行者	柔道修行の基礎の確立	中止	
教科柔道	柔道指導者及び教科柔道指導者	指導法の学習	中止	
計				31名 (19名)

### ②講道館講習会

	日時	主催	会場	内容	講師
1	2021/8/21(土) 15:00~17:00 22(日) 8:30~9:30	日本中学校体育連盟 柔道競技部	ALSOK ぐんま総合スポーツセンター ぐんま武道館	「これからの中学柔道に期待すること」及び「国際柔道連盟試合審判規程に則った審判員の適正な動作」	石川弘子 大迫明伸
2	2021/11/3(水祝) 9:00~16:00	福井県柔道連盟	福井県立武道館	「国際柔道連盟試合審判規程」の解説と実技指導	森英也
3	2021/12/19(日) 9:30~15:30	札幌柔道連盟	北海道立総合体育センター柔道場	「投の形」	鮫島元成
4	2022/2/17(日) 10:00~14:30	全日本柔道少年団	講道館大道場	「身体を使う楽しさと面白さを柔道を通して知ってもらうために」 「温故知新～嘉納塾をたずね全日本柔道少年団の未来に期待すること」	宮嶋泰子 鮫島元成

### ③講道館形講習会

	日時	主催	会場	講師 ・ 形			
				投の形	柔の形	講道館護身術	極の形
1	5月9日(日)	北海道	北海道立総合体育センター 武道場	宗 義明	鮫島 元成	小野沢弘史	南保 徳双

#### ④海外派遣

ア. 本館による短期派遣 なし

イ. 海外柔道連盟招聘による本館短期派遣

ドイツ、オーストラリアから講習会講師として派遣要請を受けたが、新型コロナウイルス感染症の影響により講習会が中止となり派遣は行わなかった。しかし、ドイツはオンラインセミナーで実施された。

ウ. IJF アカデミー への派遣

○六段 仮屋力  
トルコ

令和4年3月8日～3月16日

エ. 海外柔道連盟招聘による本館長期派遣 なし

オ. 国際交流基金による短期派遣 なし

カ. 本館以外による派遣（全柔連、日本ろう者柔道協会）

○山本三四郎  
ポルトガル（世界形選手権大会、選手団、全柔連）

令和3年10月23日～10月29日

○小志田憲一  
フランス（世界ろう者選手権大会、日本ろう者柔道協会）

令和3年10月25日～11月1日

キ. IJF、JUA、IBSA 諸会議及び大会への派遣

○小志田憲一、平野弘幸  
アゼルバイジャン（IBSA グランプリ、役員、審判員、IBSA）

令和3年5月19日～5月28日

○上村春樹、仮屋力  
ハンガリー（IJF 理事会・総会、世界選手権大会、IJF）

令和3年5月30日～6月9日

○平野弘幸  
イギリス（IBSA グランプリ、審判員、IBSA）

令和3年6月18日～6月20日

○上村春樹、仮屋力  
イタリア（IJF 会議、世界ジュニア選手権大会、IJF）  
フランス（パリグラウンドスラム、大会臨席、IJF）

令和3年10月7日～10月19日

○大辻広文  
ポルトガル（世界形選手権大会、IJF セミナー、役員、IJF）

令和3年10月22日～10月30日

○小志田憲一  
ポルトガル（IJF グランプリ、役員、IBSA）

令和4年1月28日～1月30日

○小志田憲一  
フランス（パリグラウンドスラム、役員、IBSA）

令和4年2月5日～2月6日

オンライン講道館柔道国際セミナー

日程	国名	参加数	講習内容			通訳
8月13日 (金)	カンボジア	17名	柔道概論 安全指導	固技基本動作 抑込技	投技基本動作、 投技の応用	クメール語
			鮫島元成	下山陽邦	南保徳双	
9月6日 (月)	ベトナム	191名	柔道概論 安全指導	初心者指導 トレーニング	固技基本動作、 抑込技	ベトナム語
			鮫島元成	秋山日向子四段	下山陽邦	
9月25日 (土)	タイ	40名	柔道概論 安全指導	基本動作 投技 大内刈	固技基本動作、 抑込技、絞技	タイ語
			鮫島元成	眞喜志慶治	道場良久	
9月27日 (月)	マレーシア	59名	柔道概論 安全指導	トレーニング法	投技・固技の応 用	英語
			向井幹博	秋山日向子	南保徳双	
10月2日 (土)	ミャンマー	57名	柔道概論 安全指導	トレーニング法	投技基本動作、 技の原理	ミャンマー 語
			鮫島元成	秋山日向子	下山陽邦	
11月6日 (土)	シンガポール	13名	柔道概論 安全指導	投技基本動作 技の原理	練習メニューの 組み立て方	英語
			鮫島元成	平野弘幸 七段	秋山日向子	
11月13日 (土)	フィリピン	71名	投技の原理 基本動作	トレーニング 投技の基本	固技基本動作、 抑込技	英語
			下山陽邦	南保徳双	道場良久	
11月22日 (月)	インドネシア	227名	柔道概論 安全指導	投技基本動作 技の原理	段階的な練習方 法、講義「心技 体」	インドネシ ア語
			鮫島元成	平野弘幸	藤中拓馬	
11月29日 (月)	ラオス	25名	柔道概論 少年指導法	投技 体落 大内刈 大外刈	固技基本動作、 抑込技	ラオ語
			南保徳双	眞喜志慶治	平野弘幸	
12月18日 (土)	ブルネイ	10名	柔道概論 安全指導	投技 体落 大外刈 内股	固技基本動作、 抑込技	英語
			南保徳双	眞喜志慶治	道場良久	

⑤国際協力機構（JICA）海外協力隊（旧青年海外協力隊）に関わる事業等

ア． JICA 海外協力隊 課題別派遣前訓練（柔道）（旧青年海外協力隊員技術補完研修）を以下の通り実施した。

- i． 期 間：令和3年6月28日～6月30日  
受講者：2021年度1次隊研修生1名（西牧由人 セルビア）
- ii． 期 間：令和3年9月16日～9月18日  
受講者：2021年度2次隊研修生1名（岩堀睦宗 マダガスカル）
- iii． 期 間：令和3年11月15日～11月17日  
受講者：2021年度3次隊研修生1名（福井勇貴 ブータン）

イ． 本館における課題別派遣前訓練を終了して派遣されている JICA 海外協力隊員

令和3年度に任期を終了して帰国した隊員は1名であった。

参段 鈴木拓馬（カンボジア）

令和3年3月31日現在で赴任中の隊員は計4名であった。

長尾宋馬 インド（コロナによる派遣延期のため）

西牧由人 セルビア

岩堀睦宗 マダガスカル

福井勇貴 ブータン